

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年 2月26日 (水)

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備 (図1)

### 3 確認項目

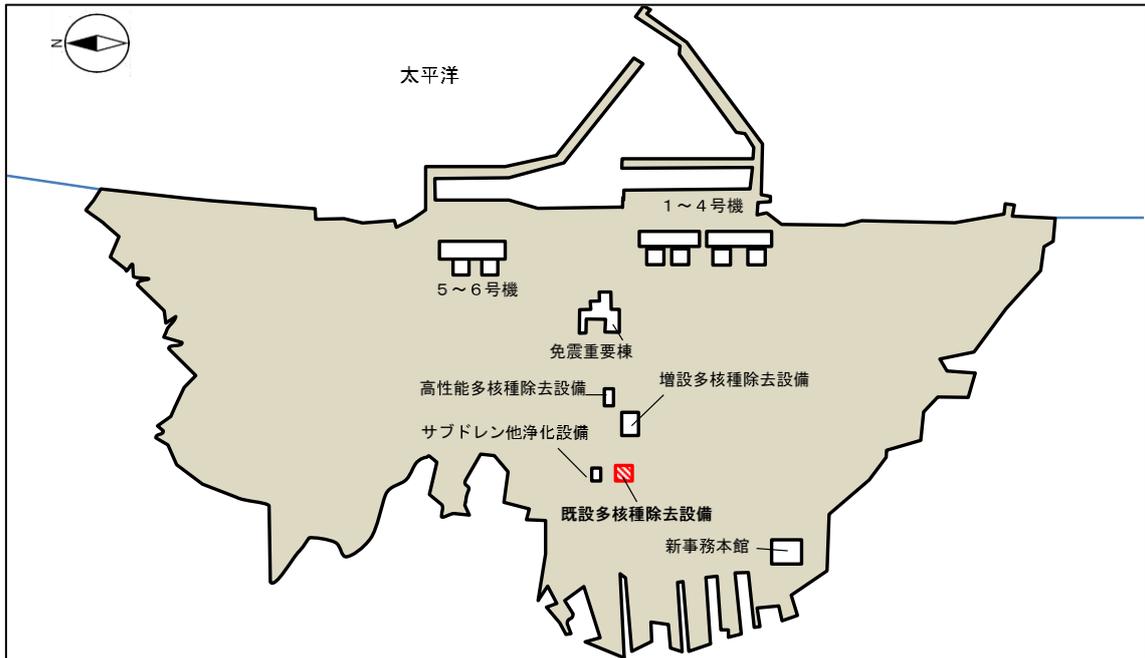
増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染等のトラブルに対する取り組み状況

### 4 確認結果の概要

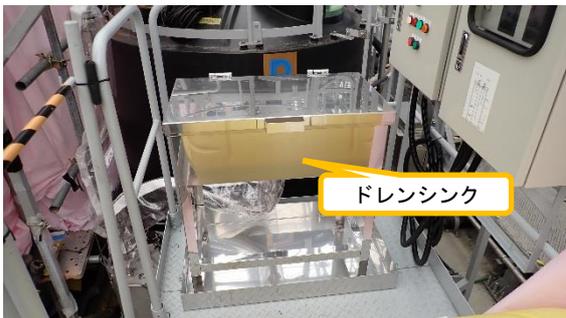
福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。東京電力では、これらのトラブルの発生を受け、作業リスクを評価するための作業点検を実施するとともに、継続的な改善活動に取り組んでいる。

本日は、既設多核種除去設備(以下「既設ALPS」という。)で実施された改善点の一例を確認した。併せて、建屋内で実施されている設備機器のメンテナンス作業の状況を確認した。(前回確認日：[令和7年2月25日](#))

- ・従来、既設ALPSの点検等で発生する系統水は、仮設のドレンタンクに排水し、そこから水中ポンプにより大型の排水タンクへ移送していた。
- ・本日確認したところ、従来の仮設ドレンタンクに代わる本設のドレンタンクが新たに設置されていた。また、排水作業をより安全かつ容易に行えるよう、新たにドレンシンクが設置されていた。(写真1)
- ・本設のドレンタンクには、液位計が設置されていた。東京電力によると、従来は水中ポンプを手動で起動していたが、液位に応じて自動起動するように改造したとのこと。(写真2)
- ・上記の確認とは別に、建屋内で実施されていたバルブの分解点検作業の状況を確認したところ、周囲への汚染拡大防止等の安全対策が適切に実施されていた。(写真3)
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
ドレンシンクの設置状況  
※ドレンシンクは間口が広いので安全かつ容易に系統水を投入可能



(写真2)  
ドレンタンクの設置状況



(写真3)  
バルブの分解点検作業の状況  
※養生シートにより汚染拡大防止措  
置を実施

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。